

しんぐう



特集 地域を守る自主防災組織

緑ヶ浜区自主防災会 防災訓練

議会だより

3月定例会 第113号 令和8年(2026)4月25日発行
発行 / 福岡県新宮町議会

特集 P2~3

地域を守る自主防災組織

予算特別委員会 P4~7

一般会計予算総額 188億7798万円

6人が一般質問 P12~18

地域を守る 自主防災組織

防災専門官にインタビュー

今回の特集では、**地域防災マネージャー**の資格を有する防災専門官の尾上勉氏に、自主防災組織の役割、災害時の実際の動き、避難行動要支援者への支援、そして今後の町の防災力向上に向けた展望を伺いました。



*【地域防災マネージャー】内閣府が、防災に関する高度な知識と豊富な経験を有する人材として認定する資格。

自主防災組織は地域コミュニティのかけはし

Q 自主防災組織の役割は。

A 災害時と平常時、それぞれに重要な役割があります。災害時に、避難誘導・安否確認、初期消火、救出・救護、避難所の運営の役割が取れるように、平常時に防災知識の普及・啓発をはかり、地域の危険箇所を把握し、防災訓練や講話により技術を培い、避難行動要支援者の把握を行います。

地域に関心のある人が多くなれば防災にも地域活性化にもつながります。地域コミュニティのかけはしになるのが自主防災組織だと思っています。自主防災組織の活動が地域に浸透することで、防災だけでなく、防犯・教育・福祉など、地域課題の解決にもつながると考えています。

Q 災害が起きた直後、自主防災組織に期待する行動は。

A まずは避難行動要支援者の安全確保です。令和7年8月の大雨では、レベル4避難指示が出た時点で道路が冠水し、避難が困難な状況でした。そのため、2階への垂直避難が必要になります。しかし、足が不自由で2階に上がれない人もいます。平成30年の岡山県真備町の災害では、2階建て住宅の1階部分で21人が犠牲となりました。本町では、避難支援を希望する人が約700人であり、行政区と自主防災組織が連携して支援する体制が不可欠です。

Q 収容避難所が遠い地域の対応は。

A まず「一時避難所（公民館）」の充実が重要です。本町が開設する避難所は中部地区に集中しており、東部・西部地区からは距離があるため、移動が負担となる場合があります。そのため、地域の実情に応じて、行政区の公民館などを一時的な避難場所として活用することも、有効な手段の一つと考えられます。

Q 避難訓練についての考えは。

A まず行政区単位で現実的な訓練を行います。隣接町では、町をあげて避難訓練をしています。まずは、屋外に一時避難、そして組合ごとに公民館へ避難、自主防災組織のスタッフは公民館で避難所設置運営訓練を行い、その後、消火・救急・講話などの機別訓練を組み合わせた実践的な訓練をしています。町職員も公民館での設置運営を指導し、住民主体の訓練を支えています。

本町でもこれをしなくてはいけないと思っています。まずは行政区ごとの訓練を行い、校区別、町全体で防災訓練をやればと思います。

自主防災組織はまず作ってから

Q 自主防災組織を作る際に考えるべきことは。

A さまざまなことを「考えてから作る」のではなく、「作って動きながら改善すること」が大切です。組織を作った後から改善すること、初めて課題が見えてきます。それをひとつずつ塗りつぶして、肉付けをして、地域防災力の向上につなげましょう。

自主防災組織連絡協議会を立ち上げたい

Q 自主防災組織ならではの強みは。

A 災害時、公助（消防・警察・警察・役場）がすぐ来られない場面で動けることです。

災害直後は、消防、警察、役場職員は住民のもとにすぐには行きません。

だからこそ、自助と共助が命を守る力になります。

Q 本町の自主防災組織の今後についての考えは。

A 自主防災組織が8割の行政区にできたら、自主防災組織連絡協議会を立ち上げ、研修会や情報共有を行いたいと思います。

相島の災害時に生きる日頃の訓練

Q 昨年8月の大雨で相島にレベル5緊急安全確保が出たときの、現場での対応は。

A 消防団と区の役員が各世帯の安否を確認し、危険区域にいる支援が必要な人を避難させました。

最大時間雨量約100ミリ、24時間雨量約450ミリという状況の中、一人も犠牲者を出していません。相島では毎年春に避難訓練を行っており、成果につながっています。

防災隣組で地域防災力の向上を

Q 町民一人ひとりが無理なく関わる方法は。

A 向こう三軒両隣の「防災隣組」を作りましょうと伝えています。

「防災隣組」ができれば、日常の見守りから自然に防災力が高まります。

また、まつりの時に防災クイズを実施する、餅つきに防災を絡めるなど、イベントに防災を組み合わせる事が効果的です。

Q 本町の地域防災力を向上するうえで、今後の大きな課題は。

A 個別避難計画の作成です。避難支援を希望する約700人の要支援者について、誰が支援し、どこへ、どのような方法で避難するのかを定めます。

他自治体は80%から100%に達しており、本町も取り組みを急ぐ必要があります。

防災士の活躍で地域防災力の向上を

Q 防災士に期待する役割は。

A 地域に住んでいる防災士に自主防災組織で活躍していただきたいです。防災士フォローアップ研修を行い、防災士連絡協議会を作り地域の防災力を向上させたいと思います。

自主防災組織年間事業計画の一例

時期	内容
4月	役員会(役割分担・年間計画確認等) 役員等連絡網の更新、新宮町役場防災担当へ届け出 避難行動要支援者の所在・区内危険箇所の確認
6月	防災知識の普及啓発(災害から身を守ろう)
9月	防災訓練(防災講話、消火、救急訓練、その他)
10月	体験イベント型訓練(秋祭り：防災クイズ)
11月	防災知識の普及啓発(火災予防運動期間)
12月	ふれあい餅つき大会
3月	役員会(今年度活動への反省会、次年度の役割分担) 年間事業計画案の作成

一人ひとりが備え・構えを

Q 最後に、町民に最も伝えたいことは。

A 災害から命を守るのは自分で守る自助7割、向こう三軒両隣、地域の共助2割、公助は全体の1割しかありません。

それぞれの立場で備えること、構えることが重要です。備えるは物の備え、構えるは心の構え、一人ひとりが地域の安全を守ってほしいと思います。

インタビューを終えて

防災には、地域コミュニティのつながりが不可欠であると再確認しました。自主防災組織の設立・取り組みを議会としても応援していきたいと思えます。

一般会計予算総額

188億7798万円

対前年度比10.3%増

令和8年度 一般会計予算(歳出)

項目	予算額
議会費	1億830万2千円
総務費	26億7981万2千円
民生費	61億4130万1千円
衛生費	12億2667万9千円
労働費	119万6千円
農林水産業費	1億7656万7千円
商工費	9255万3千円
土木費	11億9097万円
消防費	6億2536万8千円
教育費	44億2759万1千円
災害復旧費	502万3千円
公債費	10億8298万4千円
諸支出金	10億9963万4千円
予備費	2000万円

令和8年度当初予算は、議長を除く11人で構成する予算特別委員会(委員長 片岡誠治、副委員長 安武久美子)を設置し、3月6日、9日、10日の3日間審査を行いました。慎重審査の結果、一般会計188億7798万円、特別会計4件および公営企業会計4件の総額8777万5千円を、それぞれ原案のとおり全員賛成で可決しました。

職員採用試験委託料

90万2千円

令和8年度新宮町職員採用試験のセンター方式に係る部分を委託するものです。

受験できるようなセンター方式を考えている。

ポータルサイト使用料

2億376万2千円

ふるさと納税事業における民間事業者のポータルサイト使用料に関するものです。

委託契約集約化

A 以前、総務大臣に要望書を提出した。今後機会を捉えながら少しでも輪を広げたい。

A 今まで実施していた時期に1回と考えている。全国で

Q 職員採用試験が2回から1回になっている。具体的な時期などは。

Q ポータルサイトの手数料が適正なのか、糟屋地区の首長会でテーマに挙げ、国に働

経費を削減するため、学校ごとに個別に行っていた委託契約を一つにまとめるものです。

Q どのような委託契約を集約化し、まとめているのか。

A 令和7年度は各学校の警備委託の集約化を行った。令和8年度は植栽管理の業務委託を行う予定である。

コミュニティバス 運行補助金

4119万1千円

Q 路線変更についての考えは。

A 現在、マリックス事業部と路線変更や増便について話をしている。
令和8年度末頃を目途に変更していきたい。

Q 新宮町コミュニティバス運行協議会に対し、町として諮問する内容は。

A ふれあい交流館への便が少ないので検討したい。
バスの台数や、便数などへの影響も踏まえ、何が一番良いかを検討し、諮問していきたい。



ふれあい交流館前に停車中のマリックス

地域食堂助成金

20万円

新規事業で、高齢者の孤食防止と地域交流を目的に食事サービスを行う団体に助成するものです。

Q 地域食堂の具体的な内容は。

A 現在地域の福祉サロンなどで食事の提供を行っているところもあるが、それ以外で実施したいところに、食材料費を含め一部補助する。

交通安全施設工事費

1500万円

交通事故の防止や通学路の安全確保のため、交通安全施設を新設・補修するものです。

Q 杜の宮の歩道と歩道の間、に緑の線が塗られている。このグリーンベルトを町主導で町内に広げていけないか。

A 予算にもよるが要望に応じていきたい。通学路の安全対策として、学校教育課とも協議をしながら検討していきたい。

ブロック塀等撤去費 補助金

72万円

新宮町耐震改修促進計画に基づき、ブロック塀などの撤去費を補助するものです。

Q 計上されている予算で、通学路の危険ブロック塀は、ほぼ撤去されるのか。

A 全て撤去されるわけではない。
通学路に限らず住民からの相談で、避難路に面するブロック塀の撤去を補助対象にしている。

高齢者移動支援 印刷製本費

92万7千円

令和9年度から必要な方だけ申請する方法に変更するため、令和8年度の封筒、書類の印刷代を減額したものです。

Q 申請がしにくくなり、利用者が増えるのでは。

A 2年経過し事業が浸透したため、渡船同様の申請方法に変更することとした。

防災行政無線 屋外拡声子局増設

1199万円

災害時の避難情報などを迅速に伝えるために、三代土地区画整理事業区域内へ新たに屋外拡声子局を設置するものです。

Q 屋内にしていると防災行政無線がよく聞こえないとの声がある。町公式LINEの登録者を増やす取り組みは。

A 町民の約1割がLINE登録している。防災行政無線で伝えている情報が届きやすい方法を検討していきたい。



町公式LINEの登録はこちら

新宮小学校体育館解体及び新築工事設計業務委託料

2251万7千円

老朽化が進む新宮小学校体育館を、現在の場所に建て替えるための設計業務を委託するものです。

Q 収容避難所になっているが、建て替えまでの避難場所は。

A 避難所としても通常の利用に際しても、新宮中学校の体育館を案内する。

シーオーレ新宮 施設整備工事費

10億5995万8千円

シーオーレ新宮長寿命化のための2か年に渡る大規模改修工事費用です。

Q 工事監理費を抑えるために、全ての工事を監理する包括契約を町と監理会社で行い、効率化はできないか。

A 過去に業者側から断られた経緯もあるが、効率化の方法として検討に値する内容である。



新宮町不登校・ひきこもりサポートはこちら

不登校・ひきこもり 支援事業委託料

387万6千円

NPO法人に委託し、不登校・ひきこもり支援事業を行うものです。

Q 令和8年度から開始する「居場所づくり」の具体的な内容は。

A 自宅以外で安心して過ごせる場所を月1回提供する。心理職や教員OB、当事者家族がサポーターとなり、軽食提供や調理実習、ボードゲームなどの活動を通じて、コミュニケーションが苦手な子どもの意欲をサポートする。

中学校給食費負担軽減補助金・給付金

6937万5千円

町立中学校に就学している生徒および不登校、アレルギイなどによる非喫食生徒の保護者に対して給食費の一部補助および給付を行うものです。

Q 今回の助成は保護者の負担軽減につながるが、内容の周知に配慮してほしい。

A 誤解を招かないように広報活動で理解を求めたい。

「こども誰でも通園制度」 乳児等通園支援給付費

1937万7千円

利用時間可能枠の中で、就業要件を問わず、保育所・認定こども園などに0歳6か月から満3歳未満のこどもが通園するための支援事業です。

Q 対象施設は。

A 定員に余裕のある認可保育所や認定こども園、保育士配置などの基準を満たせば幼稚園でも実施可能である。

地域介護予防活動助成金

861万円

住民主体の介護予防事業に対し助成を行うものです。

Q 住民主体の介護予防事業が増えるとのことだが、具体的に。

A 健康教室OB会などで地域の団体である。
令和8年度は24団体で、新規9団体の申請があり、要望を踏まえ予算計上している。



中学校給食費の補助がはじまります

国民健康保険

受診勧奨事業委託料

460万7千円

下水道事業

アクア新宮の処理能力は

受診勧奨はがき作成などの、受診率向上のための取り組みにかかる委託料です。

Q 受診勧奨が受診率向上に結びついているのか、また新たな取り組みの考えは。

A 受診勧奨はがきを送った後に、必要に応じて電話をかけるなど、実施できたらと考えている。

Q 新宮中央浄化センター（アクア新宮）の下水処理能力は現在どれくらいか。

A 1日の処理能力は4700 m^3 である。
現状の流入水量は4000 m^3 から4300 m^3 で、多いときには4500 m^3 ほどである。

相島診療所

地域おこし協力隊 活動支援事業費補助金

300万円

Q 相島の看護師を将来的に魅力ある仕事に育てていくため、募集方法など、もう一度真剣に考える必要があると思うが。

A 本人が負担にならない方法で、3年後も定住を続けていただけの環境を整えていきたいと考えている。

令和8年度 特別会計・公営企業会計予算(歳出)

会計名	予算額	
渡船事業	1億7233万7千円	
国民健康保険	23億6561万2千円	
後期高齢者医療	5億5506万4千円	
相島診療所事業	6020万8千円	
水道事業	収益	7億8325万8千円
	資本	3億7854万5千円
公共下水道事業	収益	9億8059万6千円
	資本	15億1368万円
簡易水道事業	収益	4238万3千円
	資本	1378万3千円
相島漁業集落環境整備事業	収益	1838万円
	資本	392万9千円



アクア新宮

令和8年 第1回定例会

第1回臨時会

第1回定例会を、令和8年3月3日から18日まで開催しました。

財産の取得

Aードリルアカウントライセンス購入

- 取得金額 1867万7240円
- 業者名 株式会社COMPASS
- 納期 契約締結の日から令和8年4月3日

小学校3年生から中学校3年生までを対象に個別最適な学習を促進するためAードリルアカウントライセンスを取得するものです。

Q 一定の成果が見られていることだが、具体的に

A 月1回以上の利用が

- 全体で76・6%
- 小学生81・6%
- 中学生71・3%

で日常の学習に定着していると思っている。



タブレットで学ぶAIドリル

町道路線の認定

三代土地区画整理事業に伴い、新たな区画道路整備が進み、令和8年度中に土地利用が開始されるため、町道路線の認定を行うものです。

- 三代前田1号線、三代前田2号線、三代前田3号線
- 立畑1号線、立畑2号線
- 平原1号線、平原2号線

(総務建設常任委員会に付託)

特別委員会の設置

上下水道料金等調査特別委員会

町より「新宮町下水道条例等の一部を改正する条例の制定について」の提案がありました。

特別委員会を設置し、継続審査としました。

条例の制定

新宮町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

新宮町特別職報酬審議会から新宮町議会議員の報酬について改定の必要があると答申を受けたこと、および新宮町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例が施行されることに伴い、条例を改正するものです。

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4億2078万9千円を追加し、総額193億2477万4千円とするものです。

【歳出の主なもの】

- ・物価高対応子育て応援手当 1億5200万円 (子ども1人2万円)
- ・物価高騰対応定額給付金 2億3310万円 (1人7千円)
- ・福祉事業者支援助成金 115万2千円
- ・特定教育・保育施設等物価高騰対策費補助金 74万6千円

令和8年1月26日に第1回臨時会を開催しました。

中間報告

本委員会における次の調査・審査が終了し、中間報告を行いました。

(1) 「第6次新宮町総合計画後期基本計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について

令和7年12月4日から令和8年3月5日まで、慎重に調査・審査の結果、概ね妥当なものと認めました。

(2) 「新宮町都市計画マスタープラン」の中間見直しについて

令和7年9月3日から令和8年3月5日まで、慎重に調査・審査の結果、概ね妥当なものと認めました。

PPP・PFについて学ぶ

令和8年2月19日に新宮町役場議事堂にて株式会社福山コンサルタントの山本英治氏を招き、PPP・PFに関する研修を受けました。

「PPP・PFの目的と効果」について、PPP・PFは単なる「コスト削減策」ではなく、民間の柔軟な発想によって行政サービスを「進化」させる経営手法であるという解説がありました。日本の現状、PPP・PFの概要の説明を受けた後、全国の優良事例と本町での導入ロードマップが示されました。活発な意見交換を行い、有意義な研修会となりました。

*【PPP】官と民が役割分担をし、公共サービスの価値を最大化する仕組み

*【PF】PPPのうち、民間の資金・ノウハウを活用して施設の設計・建設・維持管理・運営を行う手法

この夏 議場が君の学び場に!!

～未来を議論する場で、未来に向けて学ぼう～

新宮町議会では、夏休み期間中、議場を自習室として開放します。

涼しく静かな環境で集中して勉強できます。

開放期間 7月21日(火)～8月7日(金)

※土日は利用できません

利用時間 午前9時30分～午後4時30分

対象 新宮町内在住の中学生・高校生

座席数 29席 ※予約はできません

参加方法 新宮町役場3階新宮町議会議事堂にお越しください

利用上の注意

- ・受付をしてから利用してください
- ・携帯電話はマナーモードにしてください
- ・私語は控えてください
- ・議場内は飲食禁止です(※水分補給は可能)
- ・状況により中止する場合があります(議会開催等)

お問い合わせ 新宮町議会事務局 TEL: 092-963-1737

鮮魚流通拠点施設整備に向け 土砂災害調査終わる！

文教
生活

令和8年3月11日の委員
会で、各課の報告を受
けました。

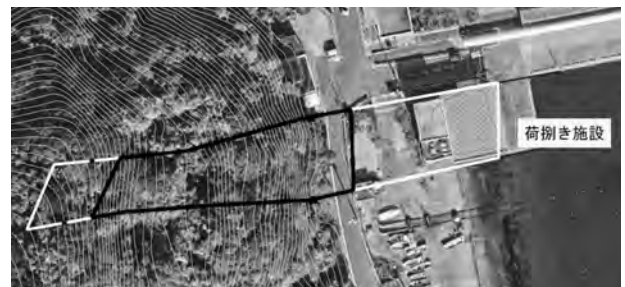
相島の魚の流通拠点となる施設を新宮漁港に整備するにあたり、本町
独自で県の調査に先行して基礎調査を実施しました。その結果、整備予
定区域はイエローゾーンの可能性もあることから、当委員会としての意
見を次のとおり付しました。

「イエローゾーン」とはいえ、運営者には施設に関わる職員や来訪者の
安全確保に万全を期すことを求めるよう申し添えておく。

Q 鮮魚流通拠点施設の整備予定地は、土砂災害の恐
れがある区域とのことだが、調査結果と整備推
進の関係性はどのように考えているのか。

A 今回イエローゾーンということなので、避難、警
戒、情報伝達などの体制づくりを考えている。

*【イエローゾーン】大雨などで土砂災害の危険がある
「土砂災害警戒区域」のことを指し、建築物の構造規制
などはないが、避難体制の整備が義務付けられる。



鮮魚流通拠点施設が予定されている
新宮漁協荷捌き所周辺

部活動地域移行と保育所跡地利活用を視察しました

令和8年1月28日 和歌山県かつらぎ町

中学校部活動地域移行の取り組みを視察しまし
た。

同町では、行政が責任を担う「地域連携」を重視
し、専門のコーディネーターを配置することで、
学校と地域の円滑な橋渡しを実現しています。

本町においても、教職員の負担軽減と子どもた
ちの充実した活動環境を両立させるため、今回の
先進事例を参考に、最適な地域移行のあり方を議
論してまいります。



地域連携がすすむ本町の部活動

令和8年1月29日 和歌山県有田川町^{ありだがわ}

旧保育所跡地を利活用した、地域活性化モデ
ル事業を視察しました。

閉園した保育所を壊さずに再利用する方針を
掲げ、民間企業との連携によりクラフトビール
醸造所や飲食店へと再生させています。

【新宮町への示唆と今後の展望】

本町で進めている「新宮東幼稚園跡地」の活用
は、子どもの居場所づくりを主目的としており
手法は異なりますが、今後、町の公有地利活用
や官民連携事業を計画する際の重要な指針とし
て役立ててまいります。



旧保育所を利用した複合施設「GOLDEN RIVER」

総務 建設

JR 新宮中央駅東口エレベーター・エスカレーター 浸水被害防止のため 止水板設置

令和8年3月12日の委員会で、各課の報告を受け、付託案件2件を審査しました。

エレベーターは3月15日から、エスカレーターは4月13日から使用開始との報告を受けました。

雨水の侵入を防ぐため止水板を設置します。また、エレベーターの吸気口を高い位置に付け替えます。



フロート式止水板のイメージ図

Q 止水板の設置位置や種類はどのようなものか。

A エレベーターとエスカレーターの1階乗り口部分に、停電時も稼働できるフロート式の止水板を設置する。

フロート式止水板の動作原理

- ①雨水が防水パネル下部へ浸水
- ②浮力で防水パネルが起立
- ③水位によって起立高さが変化

JR 福工大前駅 駅前自転車駐車場 2階の有効活用を検討

駐輪場は道路区域内に道路の附属物として設置しています。

道路区域内に道路占用として設置や利用が認められるものであれば、福岡市などと協議のうえ、使用できる可能性があります。

以上を踏まえ、有効活用の検討を行っているとの報告を受けました。

Q 新宮バルなどのイベントの屋台を組むための資材を保管できないのか。

A あくまで道路の附属物なので、道路維持のために必要な資材などを保管することでしか使えない。

Q 半分を駐輪場、半分は別の用途での利用といった活用はできないのか。

A 公共的目的や理由があれば、活用の可能性はある。



JR 福工大前駅 駅前自転車駐車場2階部分



町政を問う



録画配信はこちら

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策論争をするものです。

質問事項は事前に通告し、質問者は30分の持ち時間内で質問します。

第1回定例会の一般質問は、令和8年3月4日(水)、5日(木)に6人が行いました。

会議録は、議会事務局および町立図書館で閲覧できます。また、質問の様子は録画配信しています。

※一般質問の原稿は質問者の提出原稿をもとに作成しています。

- 1 庵原 伸一 議員 13
・カスタマーハラスメント対策の方針は
- 2 横大路政之 議員 14
・公共資産の最適管理を
- 3 西 健太郎 議員 15
・ふるさと寄附金の使途の振り分けは
- 4 江口 正明 議員 16
・新宮漁港の利活用を検討しては
- 5 大牟田直人 議員 17
・ばあちゃん喫茶への協力は
- 6 安武久美子 議員 18
・TNR 活動支援にふるさと納税の活用を



いはら しんいち 庵原 伸一 議員



動画はこちら

職員が安心して業務にあたる環境整備を

* カスタマーハラスメント 対策の方針は

研修・体制構築・ 住民啓発で職場環境整備

町長

*【カスタマーハラスメント】顧客や利用者が従業員に対して行う、社会通念上許容される範囲を超えた言動や不当な要求により、従業員の就業環境を害する行為のこと。



出典：厚生労働省「あかるい職場応援団」 (<https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>)

問 働き方改革が進む中、町職員が健康で安心して働ける環境づくりは町民サービス向上に直結する重要な課題である。職員の安全を脅かす要因を把握し、組織として対策の強化が不可欠である。総務省、厚生労働省の調査では、過去3年間にカスタマーハラスメント（以下「カスハラ」）を経験した自治体職員は35%、民間企業は10・8%で、自治体職員が高いリスクにさらされている実態が明らかになった。本町におけるカスハラに該当する事例は発生しているのか伺う。

町長 カスハラは、職員から総務課などに寄せられた相談が3件あった。窓口で、大声や強い口調で職員に要望を伝え、対応を強く迫るもの。特定の職員に対し、窓口業務やメールでの問い合わせを複数回・長時間繰り返す、窓口の運営に影響を及ぼしたケース。庁舎内に長時間滞在し、継続的に執拗な言動を繰り返す、窓口の運営に影響を及ぼしたケースである。

問 カスハラへの職員研修や発生時の初期対応マニュアル整備など、職員が迷わず行動できる体制は構築されているか。

町長 昨年6月の法改正では、事業主には研修実施や必要な配慮が規定された。総務省の実態調査では、カスハラの原因には職員のコミュニケーションがきっかけのものもある。研修により、職員の理解を深め、窓口対応能力の向上をはかりたい。初期対応マニュアルは厚生労働省や他の自治体を参考に作成を検討している。

問 町として職員を守るため、今後どのような方針でカスハラ対策を進めるのか、町長の見解を伺う。

町長 町としても、職員が働きやすい環境を整備する必要がある。職員向け研修の実施や、組織体制の構築をはかるとともに、住民への啓発も行い、理解を深めてもらうことで、カスハラのない職場環境づくりを推進していきたいと考えている。

問 カスハラ対策として、職員の名札をフルネームから名字のみの表記へ変更する自治体が増えているが、本町として導入の考えは。

町長 名字のみや、フルネームとローマ字の併記を行っている自治体もある。

問 庁舎改修時の電話機の交換で、録音機能付き電話機を検討してはと思うが。

町長 今回入れる電話機は、録音機能付きを考えている。

公共資産の最適管理を

町長

専門職の確保と
合わせて検討していく

アセットマネジメントの取組と
管財課の創設を



よこおおじまさゆき
横大路政之 議員



動画はこちら



大規模改修が予定されているシーオーレ新宮

問 本町の財産管理は公共施設や公用車・土地などの管理が総務課、その他各担当課が所管の財産管理を担っているが、今後の公共資産は単なる管理から、価値を最大化するアセットマネジメント（資産経営）へ転換すべきと思う。町長の見解を伺う。

町長 新たな施設整備を行う際は複合化や集約化を検討し、施設保全は予防保全へ転換し、施設の長寿命化と財政負担の平準化を図ることとしている。

問 公用車に積載されたカーナビのNHK受信料が遡及請求され、158万円が予算計上されたが、支払交渉において他の自治体との違いがみられた。その事例から組織として統一された交渉方針や、法的妥当性をいかに担保しているか、町長の見解を伺う。

町長 案件ごとに関係法令を確認しながら事務を進めており、困難事例については顧問弁護士に相談しているので一定程度の法的妥当性は担保できている。



外壁など改修工事中のそぴあしんぐう

問 アセットマネジメントの司令塔となる管財課を新設し、管理部門を集約することでスケールメリットによるコスト削減と現場部署が住民サービスに専念できる体制構築について町長の見解を伺う。

町長 管財課の設置は業務の集約化によるコスト削減と、業務負担の軽減が見込まれることと必要となる財源の平準化などが期待されるので専門職の確保と合わせて検討していく。

問 今後の事業計画ではPPP/PFIや公共施設の包括管理などの検討が必要になると思うが、アセットマネジメントの総括部門として管財課設置の検討が必要と考えるが町長の見解は。

町長 現職員の中には建築関係の資格を持った職員がいないので現状では困難と判断している。



にし けんたろう 議員
西 健太郎 議員



動画はこちら

CF型ふるさと寄附金の導入を

ふるさと寄附金の 使途の振り分けは

協議において 決定している

町長

*【CF型ふるさと寄附金】通常のふるさと寄附金と違い、寄附金の使い道が“特定のプロジェクト”に紐づいているふるさと寄附金制度。



ふるさと寄附金を呼びかける新宮町 HP
(<https://www.town.shingu.fukuoka.jp/>)

問 近年、地域で解決したい課題を明示し、共感を得て寄附を募る「クラウドファンディング型ふるさと寄附金（以下「CF型ふるさと寄附金」）が注目されている。本町ではCF型ふるさと寄附金の実施実績はないが、官民協働のまちづくりを進めるにあたりCF型ふるさと寄附金の導入は検討に値すると思う。本町のふるさと寄附金の使途の振り分けは、どのようなプロセスや基準で決定されているのか。

町長 ふるさと寄附金の使途は経常経費よりも臨時的経費にあてられることを基本としており、事業選択のプロセスについては、財源や財政調整基金および地方債の状況を勘案して、最終的に政策経営課と執行部との協議において決定している。

問 CF型ふるさと寄附金の導入は、本町の魅力や地域課題を全国に発信し、共感を得ることで「本町のファン」を増やす絶好の機会となり得ると考えるが、見解は。

町長 寄附の使途がより明確に選択できることから、寄附者自身の想いが直接的に事業に反映できるという利点がある。本町でも実施できる状況にあると考えている。町で返礼品を準備するのか、ポータルサイト運営会社への経費などを考慮する必要があるのか、事業化が可能か検討していきたい。

問 東京都府中市では、CF型ふるさと寄附金を活用した公益活動支援事業補助金「ファンファール」を創設し、官民協働による地域課題の解決に取り組んでいる。本町でもCF型ふるさと寄附金の導入で、ふるさと寄附金の一部を公益活動団体の提案事業への補助金に振り向けてはどうか。

町長 本町では「まちづくり活動支援要綱」に基づき、NPO法人や活動団体への活動資金や助成金の交付をすでに行っており、ふるさと寄附金の一部は活用している状況にある。



その挑戦に応援を
(東京都府中市協働共創推進課)

新宮漁港の利活用を 検討しては

地域の魅力を活かし賑わいを生みだすまちを、新宮漁港の利活用で



えぐち まさあき 議員
江口 正明



動画はこちら

町長

*海業も踏まえて 将来的に考えている

*【海業(うみぎょう)】海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業。国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域の賑わいや所得と雇用を生み出すことが期待される。

問 新宮漁港を拠点とする漁業活動の現状および漁業従事者も含め、本町が捉えている課題について問う。

町長 新宮側で漁業を行っている組合員が2人、準組合員が2人と、組合員数の減少が顕著である。

また、漁業施設の縮小や老朽化などの課題がある。

問 マリーナやヨットハーバーを整備する福津市は、関係法令による規制をクリアし、観光スポットとして賑わいのエリアを創出している。本町でも新宮漁港の利活用を検討しないのか。

町長 駐車場やアクセス道路など安全性にも配慮した整備などがハードルと考えている。



新宮漁港

問 本町の魅力である玄界灘や新宮海岸の自然を生かしつつ、水産業の振興にもつなげていくきっかけづくりとして、新宮漁港の利活用を検討し実現に向け展開してもらいたい。

町長 海や漁港も本町の大切な資源と思うが、ハードルがあるのですぐにはいかなない。

海業も踏まえて、将来的にそれら資源を有効に使うことができたらと考えている。

小・中学生増加への
教育環境整備は

問 下府地区と三代地区の土地区画整理事業で増える児童・生徒数の具体的な想定数予測を問う。

教育長 下府地区は15歳以下が約460人、三代地区は同じく160人を見込んでいる。

問 小・中学校の収容能力および教職員の配置についての検討は。

教育長 現在、将来の学級数についての検討とともに、段階的な対応も視野に、教育活動に支障が生じないよう準備を進めている。



建設が進む人丸地区(下府土地区画整理事業)

問 速やかに教育環境の適正規模を確保することが重要であり、通学区の見直しなどが必要と考えるが、教育長の見解を問う。

教育長 学校の適正規模の確保は、子どもたちの学習環境や人間関係の形成、教職員の指導体制充実の観点から重要である。

今後の児童・生徒の推移によっては、通学区の一部見直しが必要となる場合も想定し、現在、検討を行っている。



おおむ たなおと 大牟田直人 議員

動画はこちら

本町が「ありがとう」が行き交うまちであり続けることを願います



ばあちゃん喫茶への協力は

やりたいという声があれば当然町は支援

町長

問 中学生チャレンジ議会や、しんぐうライフ主催の講演会で、「ありがとう」に、人を前向きにし、地域を明るくする力があることを改めて実感した。「ありがとう」を伝え合い、支え合いの町を育み、高齢者が地域で活躍できる場を広げることが、地域全体の幸せにつながるかと確信する。

町の事業やイベントを企画する際に、高齢者が担い手として参加できる仕組みや、「ありがとう」を伝え合う仕組みを検討項目に位置づけることはできないか。

町長 「ありがとう」という言葉は人それぞれが、心の中に感じる感謝の気持ちが自然と出てくるものと思われる。町の主催事業やイベントでわざわざ仕組みを作ることには難しい。

*「しんぐうライフ」ボランティア団体が本町のシニア世代に向けて、健康・福祉・地域活動など、暮らしに役立つ情報を紹介する情報誌。

問 他自治体の「ばあちゃん喫茶」のような高齢者が培った経験や技能を生かし、「ありがとう」が生まれる拠点づくりに対し、場所の提供や運営支援はできないか。

町長 高齢者の人々が培った経験や技能を生かせる場として、地域で実施されているサロン活動の場などが有効だと考えている。

その他、各行政区、新宮町シニアクラブ、新宮町シルバー人材センター、社会福祉協議会など関係機関と連携し、高



しんぐうライフ主催講演会
「高齢者が生き生きと活躍する場をつくるには」

齢者の活躍できる場づくりを行い、高齢者が健康で生きがいあふれ、安心して暮らせるまちづくりを実現できるよう取り組んでいきたい。

問 日曜日のカルディア（そぴあしんぐう1F）や福祉センターなどで「ばあちゃん喫茶」をやりたいという人がいれば町として協力することはできないか。

町長 そういった声が町民から上がっていったら、当然町は支援していききたい。

*「ばあちゃん喫茶」高齢者が店長やスタッフとなり、手料理を提供する喫茶店。高齢者が地域で役割や生きがいを持つ場として注目されている。

ふれあい交流館を利用しやすい環境づくりを

問 ふれあい交流館は、ボランティア活動や福祉活動使用時の使用料減免がない。他施設と同等の減免ができないか。

町長 ふれあい交流館は、誰もが利用できる公園内の施設という趣旨で作っている。使用料減免は新宮町公園条例施行規則で定めており、基準改定は検討していない。

しーオーレ新宮、そぴあしんぐう、福祉センターの利用が多く、利用できる施設がないという声があれば検討したい。



ふれあい交流館利用促進を
町シニアクラブ連合会ダーツ大会

* TNR 活動支援に ふるさと納税の活用を

人と動物が心地よく暮らせる
新宮町へ



やすたけ くみ こ
安武久美子 議員



動画はこちら

町長

町が中心でやれるか 担当課で検討

*【TNR】飼い主のいない猫に対し捕獲(Trap)し不妊去勢手術(Neuter)を行い元の場所に戻す(Return)ことで、繁殖を防止し地域の猫として一代限りの命を全うさせ、苦情や殺処分の減少に寄与する活動。



相島の猫ハウス

問 本町は、公益財団法人どうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術事業を活用し、TNR活動を推進している。相島では猫の糞尿被害や発情期の騒音が減り、生活環境の向上と観光資源としての価値維持に直結している。現在は、TNR後の適正管理、給餌や医療などにかかる費用はボランティアの持ち出しにより支えられている。行政とともに環境管理を担うパートナーと定義し、実効性のある支援体制を構築すべきと考える。不妊手術申請件数と相島猫の推定個体数の推移は。

町長 新宮町地域猫活動事業で32匹、さくらねこの行政枠で、令和3年から現在まで合計118匹。相島はどうぶつ基金が230匹ほど手術し、ボランティア団体によると現在100から150匹まで減少していると伺っている。

問 TNR活動の経費を支援するために、ふるさと納税の活用や寄附金の構築、独自の助成制度を検討する考えは。

町長 制度活用が始まり7年であり、行政区やボランティアの人の話を聞き、まずは現在の課題を整理していく。

問 相島のTNR後の餌代や医療費は高額で募金などで賄えない時は自費で運営している。後継の人材を作るにも経済的基盤を整える必要がある。今後支援すべきでは。

町長 令和7年5月の猫と観光客に関する島民アンケートでは、75%の人が猫および観光客の数を維持した方が良いと回答された。

相島活性化協議会の中で島民の考えを協議してもらい、それに基づいた支援を町ができる範囲でやっていければと思っている。

問 動物保護にふるさと納税を利用した近隣自治体があり、財源にしている。

本土側の新宮猫の会は、地域猫活動補助金は支給まで1、2か月かかり猫の妊娠出産に追いつかず、1匹1万円から3万円かかる手術代を、



屋寝中の相島の猫

やむなく自費で70匹に実施している。地域猫の医療費も多額の費用がかかっている。

本町でもふるさと納税の活用を推進しては。

町長 クラウドファンディング型を立ち上げ実行されようとするものに対しては、町として支援はしたい。

町が中心でやれるかは担当課に検討させたい。

令和8年第1回(3月)定例会における審議結果

審議結果

種別	件名	採決
専決	専決処分(令和7年度新宮町一般会計補正予算)	承認
条例の制定	新宮町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町下水道条例等の一部を改正する条例の制定	継続審査
	新宮町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	8ページを参照 可決
	新宮町職員定数条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決
	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町職員の勤務時間及び休日休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例の制定	可決
補正予算	令和7年度新宮町渡船事業特別会計補正予算	可決
	令和7年度新宮町国民健康保険特別会計補正予算	可決
	令和7年度新宮町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決
	令和7年度新宮町相島診療所事業特別会計補正予算	可決
	令和7年度新宮町水道事業会計補正予算	可決
	令和7年度新宮町公共下水道事業会計補正予算	可決
	令和7年度新宮町一般会計補正予算	可決
当初予算	令和8年度新宮町渡船事業特別会計予算	可決
	令和8年度新宮町国民健康保険特別会計予算	可決
	令和8年度新宮町後期高齢者医療特別会計予算	可決
	令和8年度新宮町相島診療所事業特別会計予算	可決
	令和8年度新宮町水道事業会計予算	4～7ページを参照 可決
	令和8年度新宮町公共下水道事業会計予算	可決
	令和8年度新宮町簡易水道事業会計予算	可決
	令和8年度新宮町相島漁業集落環境整備事業会計予算	可決
	令和8年度新宮町一般会計予算	可決
契約	工事請負契約の変更(上府～三代線(三代地区)道路新設工事(第1工区))	可決
	工事請負契約の変更(そびあしんぐう外壁等改修工事)	可決
財産	財産の取得(AIドリルアカウントライセンス購入)	8ページを参照 可決
	財産の取得(フィルタリングソフトウェアライセンス購入)	可決
変更	字の区域及び名称の変更	可決
道路	町道路線の認定(三代土地区画整理事業地内新設道路)	8ページを参照 可決
計画	相島辺地に係る総合整備計画の策定	可決
規約	新宮町と両筑衛生施設組合との間におけるし尿終末処理事業の事務の委託に関する規約の一部変更に関する協議	可決
	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更	可決
人事	新宮町固定資産評価審査委員会委員の選任 <small>やすたけ ひでみ</small> 安武 秀美氏	同意
	人権擁護委員候補者の推薦 <small>なかしま じゅん</small> 中島 環氏	適任

久山町議会との合同視察研修

令和8年2月6日、久山町議会との合同視察研修を行いました。

最初に、本町役場において「新宮町のまちづくり(土地区画整理事業)について」をテーマに、新宮町都市整備課の梅見周平氏と山本綾香氏から、説明を受け、その後開発



現地視察を行いました

「誰のための議会か」を問い直し、議会改革のさらなる一歩へ

令和8年1月9日、福岡県町村議会議員研修会が福岡国際会議場で開催され、全議員がオンラインにて受講しました。

本研修会では、会津若松市議会の元議長、目黒章三郎氏を講師に迎え、「誰のための議会か」議員が成長するために」についてご講演いただきました。

講演では、「議会は町民のためにある」という原点に立ち返り、住民との対話や議員自らの政策提案がいかに重要であるかを紹介されました。

今回の研修を通して学んだ視点を生かし、町民の皆さんにとってより身近で信頼される議会づくりに向け、議会改革に邁進していきます。



オンラインで学びました

議会運営委員会視察研修

令和8年1月20日長野県飯田市議会、令和8年1月21日岐阜県多治見市議会を議会改革の取り組みを学ぶため訪問しました。

飯田市議会

議会が「存在する」段階から「機能する」段階へ進むため、「地方議会評価モデル」を導入し、スローガン・ミッション・ビジョンを明確化することで、議会の役割を再定義している点が印象的でした。



飯田市議会で学ぶ

節目ごとに検証を行うなど、継続的なチェック体制が構築されています。

両市とも、議会を機能させるための仕組みづくりが進んでいました。理念の共有と議論の質向上、市民意見の反映を両立させる姿勢は、本議会にとって大いに参考となると感じました。

多治見市議会

反問権の拡大や議員提案条例の活用、市民との対話集会の実施など、議会の政策形成力と市民参加を高める取り組みが進められています。

自由討議は、委員会では議案、全員協議会では議案外のテーマと使い分け、問題意識の共有や提案内容の整理に役立てられています。総合計画には策定段階から関与し、



多治見市議会で学ぶ

編集後記

・3月31日ふれあい交流館で開催された福祉ボランティア体験交流会に行ってきました。中学生ボランティアも約40人参加し盛り上がりました。会の最後には参加してくれた中学生ボランティアへ感謝状が渡され、ありがとが届けられました。感謝と笑顔があふれ、町の明るい未来を感じました。
(大牟田)

・少雨による水不足、紛争による燃料の高騰などが私たちの生活へ及ぼす影響は深刻です。子どもの頃、親に言われていた、無駄を見直し節約を実行しよう。
(片岡)

・進学や就職で新宮を離れる若人に贈る言葉を!! 帰って来いよ、帰って来いよ、帰ってこいよ
(江口)

・厳冬を耐えて今満開の桜花を見上げつつ、世界中の戦争や紛争の終結を願うばかりです。
(安武)

・眠い目をこすりながら泣きそうになって、努力をしても思い通りにいかないこともある。渡る世間は鬼ばかり?
(西)

・桜に重なる「一期一会」。満開の花が風に誘われ散りゆく様は、どこかさ寂しさを誘います。これまで共に汗を流した仲間の旅立ちを惜しみつつ、この春から新しく交わるご縁に心を躍らせ、一期一会の出会いを糧に、地域の未来をより彩り豊かなものにできるよう、舞い散る花びらを見上げながら決意を新たにいたしました。(上畝地)

議会との座談会のご案内

各種団体、小グループなど、気軽な感じでの意見交換の場にしたと思っています。



気軽な感じで
議員と意見交換しませんか?

希望される方は議会事務局までお問い合わせください。

☎ 092-963-1737 (直)

6月議会のお知らせ

令和8年6月5日(金)
午前9時30分開催予定

一般質問

6月8日(月)、9日(火)
午前9時30分開催予定

お気軽に傍聴にお越しください。

※日程、開始時間は変更になる場合があります。

※日程表は5月29日(金)、役場・そびあしんぐう・シーオーレ新宮などに掲示し、ホームページでも見ることができます。

※傍聴されるときは、受付が必要です。

※役場・そびあしんぐう・シーオーレ新宮のロビーのテレビでも議会中継を見ることができます。

議会中継・録画配信
しています!



今号の表紙

特集「地域を守る自主防災組織」にあわせて、昨年9月に行われた緑ヶ浜自主防災会の防災訓練の様子を表紙にしました。



いじめゼロサミット



新宮町立 中学校 訪問



【新宮中学校区】

**みとめ愛 ささえ愛 はげまし愛
やさしさの心結び なかよしの花を咲かせよう**

令和7年度「新宮中学校区いじめゼロサミット」を訪問しました。

新宮中学校、相島分校、新宮小学校、新宮北小学校、相島小学校をオンラインで結び、実施されました。各学校の代表児童・生徒が、それぞれの学校の取り組みや成果、課題について発表を行いました。

新宮中学校区では、「みとめ愛 ささえ愛 はげまし愛 やさしさの心結び なかよしの花を咲かせよう」という合言葉のもと、いじめゼロに向けた取り組みが進められています。あいさつ運動やブロックごとの話し合い活動、クラスでの交流企画など、子どもたちが主体となった実践が紹介されました。

アンケート結果からは「いじめはどんな理由があってもいけない」という意識が高まっていることがわかりま



新宮中学校区いじめゼロサミット

した。一方で「被害者にも責任がある」と考える児童・生徒が一定数いるという課題も共有され、その原因について真剣に話し合う姿勢から、「いじめは絶対に許さない学校にしたい」という強い決意が伝わってきました。

誰もが安心して過ごせる学校づくりに向けた、子どもたちの主体的な取り組みを、私たち議員も応援していきたいと思えます。

【新宮東中学校区】

**いじめをしない・させない・みずごさない
互いと個性を大切に、あたたかい居場所をつくろう**

新宮東中学校、新宮東小学校、立花小学校をオンラインで結び、「新宮東中学校区いじめゼロサミット」が開催されました。

「いじめをしない・させない・みずごさない」という共同宣言文の副題について協議するため、まず取り組みの報告が行われ、その後、副題に関する話し合いが行われました。

副題の協議では、新宮東小学校が「やさしさ・つながり」、立花小学校が「笑顔・未来・絆」をキーワードとして提示し、中学校はアンケートとAI分析を踏まえて「個性・笑顔」を示しました。

当初、中学校からは「互いを大切に、笑顔あふれるあたたかい居場所をつくろう」という案が示され、小学校側も概ね賛同しました。しかし、「個性をより重視すべき」との意見が出され、短時間で再協議が行われました。その結果、「互



新宮東中学校区いじめゼロサミット

いと個性を大切に、あたたかい居場所をつくろう」が最終案として採択されました。

三校が真剣に意見を交わし、合意形成を図る姿勢は、子どもたちが主体的に学び合う貴重な機会となっています。今後、こうした対話の場がより豊かな学びにつながることを期待されると感じました。